

## 文化財情報基盤の整備・ウェブサイトの運用（③企06-13-3/5）

### 目 的

文化財関係の情報を収集して積極的に発信するため、ネットワークのセキュリティの強化及び高速化等に対応した情報基盤の整備・充実を図り、システム面から文化財に関する専門的アーカイブの拡充、データベースの充実を支援する。

### 成 果

#### 1. 情報システムの整備

情報システムの整備については、広報委員会のLAN委員、各部・センターのLAN担当で検討のうえ実施している。

(1)平成25年度にハードウェア保守の期限が切れるネットワーク機器（所内外間での情報のアクセスを制御するファイアウォール）を更新した。(2)2013（平成25）年11月、インターネット接続のために研究機関等で共同利用しているSINETの接続先を東京大学ノードから東京データセンターに変更するのに伴い、専用線接続から公衆回線（フレッツ光）に変更した。このことで利用料が低減され、接続速度は従来通りもしくは向上した。(3)職員が使用するコンピュータ用のウィルス駆除ソフトウェアについて、Kaspersky Anti-Virus及びESET NOD32の2種類のライセンスを2013（平成25）年6月から7月にかけて更新し、最新のウィルス定義ファイルによる職員のコンピュータの保護を図った。(4)2013（平成25）年9月に、所外からのノートPCやタブレット端末等でのグループウェア（ガルーン）閲覧のため、VPN接続のための専用ソフトウェアを導入した。

#### 2. ウェブサイトの運用

研究所全体の広報、研究情報の発信としてウェブサイトの運用を行っている。各部・センターのサイトは各担当者が個別に管理しているが、行事案内や出版物情報は研究所トップで周知するなど利便性向上を図っている。

(1)リニューアル：昨年度に引き続きウェブサイトのトップページ及び案内、活動報告等全所的な情報に関するページのレイアウトを変更し、各種の情報へのアクセスの利便性を向上させた。研究所の業務紹介としては、東京文化財研究所の刊行物（図書）について25年度までのデータを追加掲載した。(2)データ集・データベース更新：「日本美術年鑑」所載物故記事等のテキストデータや、画像データは和田新撮影画像、当研究所所蔵ガラス乾板の画像等のメタデータを含む画像データのデータベース化・検索可能な形での公開を容易にするWordpressを用いた情報公開について公開の方法について検討を行い、所内で公開した。(3)定期・不定期の情報更新：各部・センターの調査研究、会議や研究会の開催等の活動について、日本語及び英語による「活動報告」として毎月掲載した。研究会開催や職員募集、入札公告などの情報については、依頼があり次第ただちに掲載した。また、ウェブサイトの内容の充実を図り、開所記念展覧会目録など、当研究所で蓄積しているデータの公開を実施した。(4)メールマガジンの発信：活動報告を含むウェブサイトの更新情報や、研究会開催、職員募集や入札公告などの情報を登録者に対して直接発信する手段としてメールマガジンの送信を随時行い、平成25年度は11件を送信した。(5)アクセス数：ホームページのアクセス（訪問者数）は1,806,200件であった。

#### 3. 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）への対応

東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会が作成した報告書3点をウェブサイトで公開した。上記の報告書のうち、2年間の活動に関する年表と活動場所を示す地図は別途日本語・英語でサイトを作成し、

ウェブでの閲覧に最適化した。

ホームページの主な更新履歴（定期刊行物、活動報告、公募情報を除く）

13.04.22	デジタルブック版『未来につなぐ人類の技 Conservation of Industrial Heritage』近代文化遺産研究室報告書 公開	保存修復科学センター
13.05.14	スタンレー・アベ氏講演会 開催案内	企画情報部
13.05.17	"Workshop on the Conservation and Restoration of Urushi (Japanese Lacquer Ware)" 開催案内	文化遺産国際協力センター
13.08.29	第13回研究会「文化遺産保護の新たな担い手―多様化するニーズへの挑戦―」 開催案内	コンソーシアム
13.08.30	第47回オープンレクチャー 開催案内	企画情報部
13.09.05	第7回文化財における伝統技術及び材料に関する研究会 開催案内	保存修復科学センター
13.09.18	文化財レスキュー事業 報告 公開	救援委員会
13.10.04	世界遺産シンポジウム「世界遺産の未来―文化遺産の保護と日本の国際協力」 開催案内	コンソーシアム
13.10.15	シンポジウム「シリア復興と文化遺産」 開催案内	文化遺産国際協力センター
13.10.15	第37回近代の文化遺産の保存と修復に関する研究会 開催案内	企画情報部
13.11.08	第27回近代の文化遺産の保存と修復に関する研究会 開催案内	保存修復科学センター
13.12.12	研究会「アート・アーカイヴの諸相」 開催案内	企画情報部
13.12.24	国際研修「紙の保存と修復 2014」 開催案内	文化遺産国際協力センター
14.01.14	「文化財の保存環境」に関する研究会―濃度予測と空気環境清浄化技術の評価― 開催案内	保存修復科学センター
14.01.17	文化財の放射線対策に関する研究会 開催案内	保存修復科学センター
14.01.31	研究報告会「敦煌壁画を見つめ直す―莫高窟第285窟壁画の科学的復元研究―」 開催案内	保存修復科学センター
14.02.07	研究会「ミャンマーにおける文化遺産保護の現状と課題」 開催案内	文化遺産国際協力センター
14.02.14	第14回研究会「文化遺産保護の国際動向」 開催案内	コンソーシアム

#### アクセスランキング

1	全体index	6	『日本美術年鑑』所載物故記事
2	黒田記念館資料編（日記、書簡、作品一覧等）	7	『無形文化遺産研究報告』PDF
3	『保存科学』PDF	8	東京文化財研究所全体（日本語）
4	イメージギャラリー	9	黒田記念館全体
5	企画情報部全体	10	活動報告（日本語）

#### 研究組織

○二神葉子、田中淳、山梨絵美子、津田徹英、塩谷純、綿田稔、小林公治、小林達朗、皿井舞、城野誠治、中村明子\*1、井上さやか\*1、橘川英規、福永八朗、小山田智寛\*2、高橋佑太\*2（以上、企画情報部）  
 広報委員（LAN）：川野邊渉（文化遺産国際協力センター長） 各部門LAN担当：高砂健介（研究支援推進部）、綿田稔（企画情報部）、飯島満（無形文化遺産部）、吉田直人（保存修復科学センター）、加藤雅人（文化遺産国際協力センター）

\*1 平成25年10月まで \*2 平成25年7月から